

資生堂、創業 140 周年のシンボリックアクションとなる「未来椿プロジェクト」を始動

資生堂は、創業 140 周年のシンボリックアクションとして、世界中のグループ社員 45,800 人が 131 の事業所・部門ごとに社会貢献活動を行なう「未来椿プロジェクト」を始動しました。

当活動の各事業所・部門ごとの実施結果については、当社グループ企業情報サイト内「140 周年アニバーサリー」ページに 25 日(金)から掲載し、社会に広く公開、発信していきます。

「未来椿プロジェクト」について

当社は、1872 年(明治 5 年)に日本初の洋風調剤薬局として東京・銀座に創業しました。現在は、世界 89 の国と地域で事業を展開する企業へと成長し、「日本をオリジンとし、アジアを代表するグローバルプレイヤー」をめざして、活動を行なっています。

創業 140 周年を迎えた 2012 年は、資生堂グループの全社員が事業所・部門ごとに、「美しさを創り出す」を横断テーマに、当社の強みが発揮できる「女性・化粧」「文化」「環境」の 3 つの分野で社会貢献活動を行ないます。当活動は、未来に咲かせる椿の大輪という意味を込めて「未来椿プロジェクト」と称しました。

当活動は、創業 140 周年限定のイベントではなく、今回をきっかけに、これまで支えていただいた社会やお客さまへの感謝の気持ちを世界中のグループ社員で共有し、結束力をより高めていきます。あわせて、資生堂グループ企業理念にある「美しい生活文化の創造」に向け、社会やお客さまとのつながりをさらに深めていきます。

当社グループ企業情報サイト内「140 周年アニバーサリー」ページでの紹介

「未来椿プロジェクト」の世界中の事業所および部門の実施結果については、当社グループ企業情報内「140 周年アニバーサリー」ページに掲載し、随時更新します。

日本語サイト: <http://group.shiseido.co.jp/140th/>

英語サイト: <http://group.shiseido.com/140th/>

中国語サイト: <http://www.shiseido.co.jp/c/140th/>



未来椿プロジェクトの活動例

領域	活動内容
女性 化粧	<p>【アジアからの留学生支援】 国内の大学に留学中のアジア人留学生を対象に、美容講習会及び文化交流会などを実施し、民間レベルでの国際友好を促進。また、不要な衣類等を通じて得た資金を、アジア留學生育英奨学金基金等に寄付。</p>
	<p>【クールジャパン支援】 当社ヘアメーキャップアーティストとビューティーコンサルタントによるヘアメイクおよびレクチャー協力。 対象 ①日本女子サッカーリーグ様へのメイク協力活動(希望するチームへのビューティーアスリートセミナーおよび開幕記者会見、年間表彰式などリーグ行事でのヘア・メーキャップ協力)②TVでの交通情報案内に携わる公共交通機関勤務の女性社員③日本が誇る和装文化の創生に寄与することを目的としたファッションショー「Fashion Cantata from KYOTO」への協力④シニア世代を対象とした「大人きれいメイク」セミナーの開催。</p>
	<p>【東北の仮設住宅及び震災の影響で避難生活を余儀なくされている方々へのビューティー支援活動】 対象エリア ①東北の仮設住宅②埼玉県加須市・旧騎西高校に避難されている福島県双葉町の方々③名古屋市内、川崎市内の避難者のイベント④NPO 主催のチャリティーショーにてメーキャップ協力。</p>
文化	<p>【ブラット銀座】 当社創業の地である銀座の名所を巡るウォークラリーを企画・運営。11月に開催予定。</p>
	<p>【職業教育を行う専門学校への支援活動】 恵まれない家庭環境を持つ子供たちを受け入れる学費無料の専門学校に対する支援活動を行なう。当学校の学生を会社イベントや工場見学へ招待するとともに、社員がボランティア活動を実施。</p>
	<p>【3.11肖像写真展】 東日本大震災の生存者が、笑顔で未来を前向きに生きていけるように願うとともに、震災被害の現実と生存者の勇敢さを伝えるため、写真展を企画し、開催。</p>
環境	<p>【水の源流を守り、水の文化を伝える複合活動】 化粧品の主原料である水の環境保全を意図し、当社リサーチセンターが所在する横浜の水源を守る活動ボランティアに参加・協力。スキンケアセミナーの開催。</p>
	<p>【北海道クリーン作戦】 日本を代表する観光地・北海道の主要都市で行われるイベントや祭事の会場周辺、公園等を中心に、市民や国内外からのお客さままで賑わう季節に、清掃活動を行う。</p>
	<p>【未来へ届け、絆をつなぐ「椿の街」(大船渡市)復興プロジェクト】 「椿」を市の花としている被災地(岩手県大船渡市)と「椿」をシンボルとしている当社を結び、「椿の植樹」を行い、街づくりを支援。</p>